

- 麦・大豆収益性・生産性向上プロジェクトについて、令和3年度補正・4年度当初予算実施分で予算額33.5億円に対し、約31.6億円の要望があった。

<令和3年度補正・4年度当初予算実施分における事業ごとの執行状況>

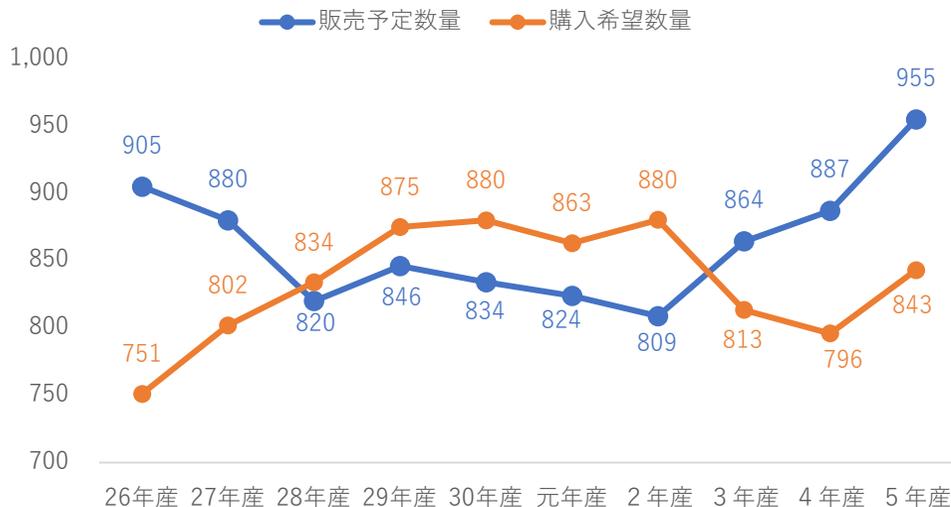
事業名	概要	割当て額	予算額 ※括弧内は予算額に対する 割当て額の割合
①水田麦・大豆産地生産性向上事業	団地化の推進・営農技術の導入に取り組む産地をソフト・ハード両面で支援	22.2億円	22.5億円（99%）
②麦・大豆保管施設整備事業	国産麦・大豆の安定供給に向けた保管施設整備を支援	7.4億円	9億円（82%）
③麦類供給円滑化推進事業	国産麦の一時保管、安定供給体制の構築を支援	1.3億円	1.3億円（100%）
④麦・大豆利用拡大推進事業	国産麦・大豆の利用拡大に向けた商品開発、マッチング等を支援	0.7億円	0.7億（100%）
合 計		31.6億円	33.5億円（94%）

※ ①水田麦・大豆産地生産性向上事業については都道府県を通じた要望調査、その他3事業については公募を実施。

小麦、大豆等の需要の拡大状況

- 国産小麦については、新商品開発等による実需ニーズの高まりにより、平成28年産以降、需要が供給を上回る傾向で推移していたが、令和元年産からの豊作基調により、令和3年産以降は供給が需要を上回る状況。
- 国産大豆も、ほぼすべての業界において、実需者は使用量を増加させる見通し。
- 国産麦・豆の活用は、商品の付加価値を向上させるため、実需者のニーズは堅調。

国産小麦の販売予定数量及び購入希望数量の推移



資料：民間流通連絡協議会調べ

国産小麦を使った商品等の取組事例

- ・「ゆめちから」や「きたほなみ」といった国産小麦を使用した食パンや菓子パン等の商品が販売。
- ・全国展開のA社は、餃子と麺類に使用している小麦粉を100%国産へ切替。



食用大豆の需要見込み

R2年度実績数量 (千トン)	R3年度		R4年度		R8年度	
	うち 国産	需要見込み うち 国産	需要見込み うち 国産	需要見込み うち 国産	需要見込み うち 国産	需要見込み うち 国産
1,053	211	102%	103%	104%	106%	114%

※ R2年実績数量は「食料需給表」を基に、穀物課推計。

※ R3年以降の需要見込みは各業界団体からのアンケート結果（n=134）を基に、穀物課推計。

国産大豆を使った商品事例

通常の豆乳	北海道産大豆 使用豆乳	通常の豆腐	北海道産大豆 使用豆腐
	1.3倍		1.4倍
280円/1L	350円/1L	96円/個	136円/個

資料：キッコーマンホームページ
注：価格は希望小売価格

資料：Amazonホームページ